

# マジプロ10年振り返る

## 樽商大18日 20企業と座談会

小樽商大は18日午後3時から「商大生が小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト」(マジプロ)の開講10年目を記念して、緑3にある同大で座談会と成果発表会を開く。マジプロは商大生が民間企業などと連携し、実践を通じて地域活性化を学ぶ科目。座談会では、これまで連携した20企業・団体の担当者のほか、一般参加者を交え、外部の目線でマジプロの意義や役割、今後の方向性などについて考える。

(三坂郁夫)

### 「知ってもらおう機会に」

マジプロは2008年秋、座談会を企画した。に始まった。今回は毎年行 座談会では、マジプロで っている成果発表会に加 連携したおたる水族館、余

市町などの担当者が出席する。学生や一般参加者とともに5グループに分かれ、



これまでの活動を振り返るほか、プロジェクトへの要望などを話し合う。成果発表会では、学生が16年度に取り組んだ①小樽ブランドを生かした新たな商品開発②小樽観光地のユニバーサルデザイン③市立小樽図書館の活性化についてPRポスターを持ち参加を呼び掛ける小山田健さん

いて報告する。

同大地域連携教育コーディネーターの小山田健さんは「マジプロを一般の方には知ってもらいきっかけになれば」と話している。入場無料。問い合わせは同大 ☎0134・27・5479

へ(平口のみ)。



# 夢へ小樽でも第一関門

解答用紙などが配られ、緊張感が高まった小樽商大の試験会場

## センター試験初日

# 交通機関の乱れなし

大学入試センター試験初日の14日、後志管内で唯一の会場の小樽商大でも試験が始まった。受験生たちは志望校合格を目指し、緊張した面持ちで第一関門に挑んだ。  
(三坂郁夫)



同大で受験するのは男性339人、女性251人の計590人で前年より43人多い。受験生は父母の車などで午前8時ごろから続々と会場に到着。入り口周辺で待機する高校教師や学習塾関係者らから激励を受け、構内へ向かった。

この日は、上空に停滞しているこの冬一番の寒気の影響で荒天が懸念されたが、小樽では交通機関の乱れはなく、予定通り午前9時半から「地理歴史」「公民」の試験が始まった。

青森県弘前市の弘前大を志望する小樽桜陽高3年の秋元俊樹さん(18)は「体調は万全。落ち着いて頑張りたい」。道教大図書館を目指す小樽潮陵高3年の鍋島花苗さん(18)は「これ以上できないくらいしっかり対策してきた。絶対合格したい」と意気込みを語った。最終日の15日は理科、数学の順で試験を行う。

## センター試験始まる！ 商大に志願者590名 (2017/01/14)

ツイート



平成29年度大学入試センター試験が、1月14日(土)・15日(日)の両日、全国691会場で実施され、志願者数は、昨年度より12,199名増の575,967名となった。

道内では、昨年同様25会場で開かれ、志願者数18,585名。後志管内唯一の試験会場となる小樽商科大学(緑3)では、昨年より43名多い590名(男339名・女251名)が志願し、志望大学を目指して挑んだ。

昨年、女子は志願者276名で、男子志願者271名を5名ほど超す事態となったが、今年

度は、男子志願者が339名となった。

悪天候が心配される中、小樽では朝から晴れ、交通機関の乱れもなかった。同大の校門前に受験生を応援する旗を掲げ、高校の教員や塾講師らが待ち受け、受験生が到着するたびに激励した。

同大では、試験室を昨年度の8室から9室に増やして対応。受験生や保護者の待機場所を設け、試験室には8:30から入室できた。第1試験室(104講義室)では、100名ほどが入室し、緊張した雰囲気にも包まれた。

係りから携帯電話等の受験上の注意事項や説明の後、地理歴史、公民の問題冊子と回答用紙が配布された。

初日は、9:30から地理歴史、公民・国語・外国語・英語(リスニング)で18:10終了。2日目の15日は、9:30から理科①・数学①・数学②・理科②、17:40終了を予定している。

札幌管区气象台では、15日にかけて、石狩北部と後志地方では、吹雪による交通障害、強風、高波、なだれ、14日夜から15日未明にかけて大雪による交通障害に注意を呼びかけた。



[◎大学入試センター](#) [◎列車運行情報](#) [◎関連記事](#)



数学の試験を終え小樽商大の会場を後にする受験生



大学入試センター試験試験場

# 受験生ひとまずほっと

## センター試験 小樽で無事終了

大学入試センター試験は最終日の15日、後志管内の会場の小樽商大でも無事に2日間の日程を終えた。受験生はほっとした表情を浮かべながらも、2次試験や私立大受験に向け気持ちを切り替えていた。

公共交通機関が目立った乱れはなく、同大によると、試験開始に遅れた受験生はいなかった。午後3時前に数学の試験を終えると、続々と帰路についた。

道教大旭川校に進学し中学校の国語教諭を目指す余市町の小樽潮陵高3年平泉優香さんは「国語が難しかった。2次試験でこの悔しさをほらしたい」と表情を引き締めた。首都大学東京を志望する古平町の同高3年田附里菜さんは「生物が思っていた以上にできた」

と手応えを話していた。小樽市長橋の同高3年相沢拓未さんは「得点源の国語でとれず悔しい。北大が第1志望だけど、あらため

て親と話し合います」と話し、「とりあえず今はカラオケに行きたい」と友人たちと目を合わせた。

(峯村秀樹)